

SDGs (持続可能な開発目標) と東北ろうきんの取組み

ろうきん業態ではSDGsの実現に向けた取組みを展開するにあたり、2019年3月に「ろうきんSDGs行動指針」を策定しました。SDGsのスローガンである「誰ひとり取り残さない」や、全ての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況を目指す「金融包摂」の考え方は、〈ろうきん〉の設立経過や理念、ビジョンと合致するものです。

当金庫においてもこの指針に則り、労金運動を通じた勤労者の生活向上という、〈ろうきん〉の使命を徹底追求することを通じて、今後も〈ろうきん〉に期待される協同組織金融機関としての役割を発揮し、SDGs達成に取り組んでいきます。



〈ろうきん〉は、良質な金融商品・サービスの継続的な提供を通じて、すべての勤労者やその家族が生涯にわたり安全・安心・豊かに暮らせる社会づくりを進めます。



〈ろうきん〉は、誰もが平等に質の高い教育を受ける機会が保障されるとともに、すべての勤労者が自らの能力を高めるために生涯学び続けられる環境づくりに取組みます。教育に係る様々な資金ニーズに応えるとともに、金融経済教育を推進します。



〈ろうきん〉は、環境や社会への配慮や企業統治が優れた企業への投資や、それらに取組む団体との連携等を通じて、持続可能な社会づくりに取組みます。



〈ろうきん〉は、誰もが年齢・性別・障害・経済的地位などの違いによって、差別や排除を受けたり社会的孤立に陥ったりすることなく、健康で安心して働き暮らせる社会の実現をめざします。社会的・経済的に困難な状況に置かれた人々の金融アクセスの改善を通じて、就労・社会参加や経済的自立の支援に取組みます。



〈ろうきん〉は、労働組合や協同組織・NPO・社会福祉法人・社団・財団・自治体などと連携し、各団体とのネットワークを活用した社会的課題の解決の取組みなどを通じて、差別や争いのない平和で誰もが安心して生活できる共生社会の実現をめざします。



©ROKIN

SDGsとは

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」など17のゴールと、そのゴールごとに設定された169のターゲット(個別目標)で構成されています。世界的にその重要性が認識され、日本でもその積極的な推進が期待されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

ろうきんビジョン (2015年～2025年)

1. 勤労者の生活を生涯にわたってサポートします。
2. 非営利・協同セクターの金融の中核として、その役割を発揮します。
3. 人と人、人と地域をつなぐことを通じて、共生社会の実現に貢献します。

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

地域社会の活性化に関する取組み

緊急避難所「こども110番」



こども等を対象とした犯罪が多発しており、地域をあげた防犯・安全対策が求められています。当金庫では、店舗ATMコーナーを“万一の時に避難できる場所”として提供しています。

【設置店舗】

五所川原支店、大船渡支店、一関支店、北上支店、奥州支店、久慈支店、盛岡北支店、新塩釜支店、石巻支店、長町支店、仙台東支店、大館支店、大曲支店、米沢支店、山形北支店、福島支店、原町支店

「高齢者等見守り活動」への協力

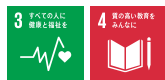


“高齢者等にやさしい地域づくり”をめざした自治体の「高齢者等見守り活動」へ協力し、協定覚書の締結や事業所登録等を進めています。

【自治体名】

むつ市、十和田市、釜石市、一関市、北上市、奥州市、陸前高田市、塩竈市、岩沼市、由利本荘市、福島市、須賀川市、南相馬市

「認知症サポーター養成講座」の取組み



CSR活動の一環として、認知症への正しい知識と理解を深め、地域の共生に繋がる取組みとして全役職員を対象に認知症サポーターの資格取得に取組んでいます。認知症サポーターがいる店舗には「認知症サポーターがいます」のステッカーを掲示しているほか、資格を取得した職員は認知症サポーターの証であるオレンジリングを身に付けています。



また、認知症の方やその家族の支援に積極的に取組む団体として、各自治体と「認知症にやさしい企業・団体」の登録を進めています。

【認知症にやさしい企業・団体】として登録されている自治体名

むつ市、陸前高田市、塩竈市、大館市、寒河江市、伊達市

寄付講座への講師派遣



「学生が労働の場で自分の身を守り、今後の企業活動に役立てる」ことを目的に、各県連合と提携し、年に一度、岩手大学・岩手県立大学・山形大学の「寄付講座」へ講師の派遣や資料の提供をしています。この講座では、ろうきんの理念や歴史、労働金庫運動等について講義を行っています。

「高校生・若者のための消費者講座」への講師派遣



福島県労働福祉協議会が主催する「高校生・若者のための消費者講座」にろうきん職員を講師として派遣しています。

この講座は、“これから社会を担う若者を金融トラブルから守る”ことを目的としており、お金に関する基礎知識を身につけていただいています。

2020年度は9回開催され、268名の生徒が受講しています。



ろうきん5R運動



企業の社会的責任(CSR)を果たすため、地球温暖化防止に向けて以下の項目を基本とした取組みを継続実施しています。

- 冷暖房の適正温度設定を実施し、省エネに努めています。
- 夏季は軽装による執務を実施しています。

ろうきん森の学校



労働金庫連合会の創立50周年記念社会貢献活動として、全国5地区(福島、新潟、富士山、岐阜、広島)のNPO法人が森林環境教育事業を実施しています。当金庫エリア内では、福島県いわき市の「NPO法人 いわきの森に親しむ会」が森林整備・農作業、自然観察会や自然体験活動支援などの活動を行っており、2020年度は延べ6,407名の参加をいただいております。

ふれ愛の森ロッキー【山形県本部】



水と森を守るとともに、会員・市民の皆様の自然とのふれあいの場や各種レクリエーションの場として活用いただくことを目的に、1998年に西蔵王にオープンしています。

ろうきん杯学童軟式野球山形県選手権大会の開催【山形県本部】



青少年の健全な精神と身体の育成・地域社会の発展に寄与することを目的とし、1988年より毎年地区大会と県大会を開催しています。県大会は各地区予選会を勝ち抜いた8チームにより開催しました。

- 優勝／寒河江パワースターズ(山形地区第二代表)
- 準優勝／峰栄スピリッツ(鶴岡地区推薦)

ろうきん杯争奪福島県ユース(U-15)サッカー選手権【福島県本部】



中学生の健全な心身の育成と地域間交流を重ねることを目的に、高円宮杯ユースサッカー選手権を兼ね、福島県本部主催により県内各地区予選と県大会を開催しています。

- 優勝／ピアンコーネ福島 U-15
- 準優勝／Jヴィレッジスポーツクラブ
- 第三位／会津サントスFCジュニアユース FC Regate



NPO・ボランティア団体等への支援

NPO事業サポートローン

NPOの経済的自立や社会的地位の向上を金融面から支援することを目的として、2007年12月より取扱っています。

2020年度東北ろうきん復興支援・

社会貢献団体助成金制度

東日本大震災により甚大な被害を受けた地域で復旧・復興・被災者支援に従事するNPOやボランティア団体の活動支援を目的として2012年度に「東北ろうきん復興支援助成金制度」を創設、2017年度からは、「当金庫が定める社会貢献活動に従事している団体」も追加し、助成を行っています。

2020年度は49団体から応募を受け、選考の結果、10団体に対して1団体あたり30万円の助成金を交付しました。



団体名	所在地
1 特定非営利活動法人 高田松原を守る会	岩手県陸前高田市
2 一般社団法人 アート・インクルージョン	宮城県仙台市
3 社会福祉法人 仙台いのちの電話	宮城県仙台市
4 特定非営利活動法人 イコールネット仙台	宮城県仙台市
5 特定非営利活動法人 HERO	宮城県仙台市
6 特定非営利活動法人 アジェンダやまがた	山形県山形市
7 NPO法人 3・11こども文庫	福島県相馬市
8 特定非営利活動法人 ビーンズふくしま	福島県福島市
9 特定非営利活動法人 福島県スポーツマネジメント協会	福島県郡山市
10 特定非営利活動法人 ままはーと	福島県いわき市

多重債務対策の取組み

当金庫では、多重債務など金融にかかわるトラブル対策として職域や学校等での研修・学習会の開催、講師派遣、各種情報の提供などを通じた予防運動の一層の強化、また多重債務者の救済活動の強化を進めています。

◆多重債務問題の取組み状況 (単位: 件)

	2020年度
相談件数	164
当金庫の借換えローンの利用	30

(注)「当金庫の借換えローンの利用」は、年度中に融資実行した件数を記載しています。

◆会員労働組合と連携した研修・学習会の開催状況

	2020年度	
	開催回数(回)	参加人数(人)
マネートラブル関連	34	574
マネートラブル以外の生活応援関連	831	10,640
合計	865	11,214

自然災害に係る取組み

自然災害(地震・台風・大雨・大雪等)により被害を受けられた皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。

当金庫では、復興に向けた支援として、以下の災害関連ローンを取扱っています。

【東日本大震災】

災害救援ローン(無担保):2022年3月末日までの受付、実行分
災害救援住宅ローン(不動産担保):2022年3月末日までの受付、2023年3月末日までの実行分

【令和元年台風19号】

災害救援ローン(無担保):2022年3月末日までの受付、実行分

【令和2年7月豪雨】

災害救援ローン(無担保):2022年3月末日までの受付、実行分

【令和3年1月7日からの大雪】

災害救援ローン(無担保):2022年1月末日までの受付、実行分
災害救援住宅ローン(不動産担保):2022年1月末日までの受付、2023年1月末日までの実行分

【令和3年福島県沖を震源とする地震】

災害救援ローン(無担保):2022年3月末日までの受付、実行分
災害救援住宅ローン(不動産担保):2022年3月末日までの受付、2023年3月末日までの実行分

生活応援運動の展開

生活応援運動は、「生活設計サポート」「生活防衛サポート」「生活改善サポート」を運動の3つの柱とし、勤労者の生活のうち「お金」にまつわる諸問題を、勤労者のための金融機関であるろうきんが会員組合および推進機構との連携のもとで情報を共有し相談を受け、具体的解決をめざして取り組んでいます。

福祉金融機関としての預金・融資制度

◎預金

【ろうきんふれ愛預金】

地域の社会福祉施設等の支援を目的とした「ろうきんふれ愛預金」を取扱っています。
概要はP4に記載しています。

◎融資

「奨学金借換え融資制度教育ローン“Yo・Ri・So・I” (よりそい)」

現在、学校進学の際に利用した「奨学金」について、奨学金の返済負担が大きな社会問題となっています。当金庫では、返済負担軽減を目的とした低利な制度の取扱いを2016年10月より開始し、返済見直しのご相談に応じています。

国との連携による融資制度

雇用保険を受給できない方や公共職業能力開発施設に通う訓練生を対象にした融資制度は下記のとおりです。

- ・求職者支援資金融資制度 2011年10月取扱い開始
- ・技能者育成資金融資制度 2011年5月取扱い開始

◆利用状況

	求職者支援資金融資制度	技能者育成資金融資制度
件数	66	664
融資残高	12,522	490,535

(2021年3月末現在)

※制度概要はディスクロージャー誌(本冊)P41の「貸出業務のご案内」に記載しています。

地域社会を支援する取組み

東北ろうきん 社会貢献活動「T・R・Y」

「東北ろうきん生活応援運動『資産形成』」に該当するお取引1件につき100円を東北ろうきんより拠出し、東北6県の社会福祉協議会等に寄付することで、「障がい者等の就労施設」や「障がい者等の勤務に関わる団体」の支援を行います。お客さまの資産形成が社会貢献活動につながります。

2020年度は23,280件のお取引があり、2,328,000円を東北6県の社会福祉協議会へ贈呈しました。



障がいをもつ方の自立 および就労支援の取組み

冬の生活支援強化月間では、東日本大震災の被災地支援および障がいをもつ方の就労支援の一環として、景品に「つながりのボールペン」を採用しました。これは東日本大震災で被災した福島県の福祉作業所の方々が作成しており、被災した障がい者の方の生きがいと福祉作業所の安定化に貢献しています。



【本部・宮城県本部】

夏の生活支援強化月間では、景品の「ECOタンブラー」外箱へのステッカー貼付作業を、宮城県内の福祉作業所へ依頼しました。障がいのある方の自立支援と就労機会の提供に貢献しています。

福祉作業所商品購入の取組み

【岩手県本部】

県内の福祉作業所支援のため、福祉作業所で販売している商品を購入し「ろうきんふれ愛預金」をお預けいただいた方に、お礼として差し上げています。

2020年度は県内福祉作業所3ヶ所から合計270個の商品を購入しました。



社会貢献目的定期預金「ろうきんふれ愛預金」 による寄付金の贈呈



2012年10月より、地域の社会福祉施設

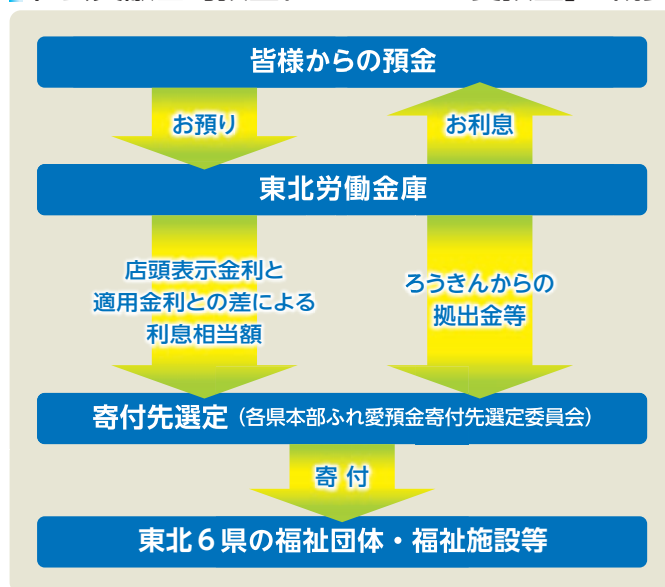
等の支援を目的とした社会貢献目的預金「ろうきんふれ愛預金」をお取扱いしています。

この預金は、お客様からお預けいただいた定期預金の適用金利を「定期預金(1年もの)店頭表示金利から30%を減じた金利」とさせていただきます、その金利差分の利息相当額に当金庫拠出金を加えた金額を、東北6県の福祉団体・福祉施設・NPO団体等へ寄付させていただいています。

「社会貢献したいが、どうしたら良いかわからない」「寄付をいつどこにしたら良いかわからない」という方にも、気軽に参加いただける社会貢献活動です。寄付金贈呈は2013年度より実施しており、2020年度は46団体に総額416万円を贈呈しています。

※店頭表示金利の見直し状況により、寄付が発生しない(店頭表示金利と適用金利の差が発生しない)場合があります。その場合、ふれ愛預金の残高に店頭表示金利の30%を乗じた額を当金庫が拠出し寄付いたします。

社会貢献目的預金「ろうきんふれ愛預金」の概要



SDGs達成に向けた〈東北ろうきん〉の2021年度事業計画

2021年度から2023年度までを期間とする〈東北ろうきん〉の第7期中期経営計画では、「生活応援運動の充実とSDGs達成に向けた取組み」を個別テーマとして掲げております。うち、2021年度の事業計画では、SDGs達成に向けて以下の取組みを進めております。

1. 社会的課題に対する金融面からの支援

- (1) 会員の皆さまのうち、非正規雇用の方向けのローンを発売します。
- (2) 奨学金融資のお借換え相談により、ご利用いただいている方の返済負担の軽減に繋がります。
- (3) 2021年4月に取扱いを開始した「後見制度支援預金」等、皆さまが安心して取引が行える商品を検討します。
- (4) ATM1日支払限度額の設定や友の会の皆さまと連携した取組み等、特殊詐欺等犯罪被害防止に取組みます。
- (5) 学習会・セミナーの開催により、ご利用いただく方の金融リテラシー向上をめざします。

2. 労働団体、労福団体、生協、自治体、NPO等との取組み

- (1) 労働団体、労福団体と連携し、新規会員加入の取組みを行います。
- (2) コーポレーションの定着や、生協連との定期協議の実施により、生協との連携強化を図ります。
- (3) 自治体提携融資やCSR活動(寄付・助成)を通じ、連携強化と情報発信を進めます。
- (4) 事業性融資審査実務担当者の育成を継続しつつ、事業性融資の体制を検討します。

3. CSR活動の見直しと充実、ESG投資方針の確立と実践

- (1) 寄付金制度の検討のほか、寄付・助成等を実施した団体との連携強化を図ります。
- (2) 職員を対象とした「認知症サポーター養成講座」を継続します。
- (3) 環境に配慮した商品制度やペーパーレスの導入等の施策を検討します。
- (4) ESG投資指針に基づく投資を行います。